

第11回核データグループ会合議事録

日 時： 昭和42年8月28日(月) PM 1.00~PM 5.30

場 所： 原研本部第2会議室

出席者： 中島(竜)，岡本，神田，若林，浅見，村田，中村，
更田，中島(豊)，井出野，五十嵐，河原崎，八谷，
菊池(康)，田中，大久保，西村，菊池(士)

配布資料： 第10回核データグループ会合議事録

議 事：

I 前回議事録確認

II 一般報告事項

1. 核データセンター設立について，NAIG，MAPI，日立の各研究所長から原研理事長に要望書が提出された。又，原子力学会長から原子力局長にも要望書が出された。
2. 43年度の局の予算内示額は1800万円である。
3. 先きに天引きした分の予算の解除について報告があつた。
4. 秋の原子力学会特別講演は西村，五十嵐両氏が担当することになつた。
5. シグマ委員会の40，41年度活動について原子力学会誌に特別寄稿をする旨報告があり，その原稿が回覧された。
6. 岩城委員の件は未定
7. SchwarzとWayが国際会議で来日するが，その際シグマ関係の話し合いを持ちたい旨報告があつた。

III 計算関係報告

1. Non-local optical modelのプログラムは目下coding中
2. resonance + optical model の計算はなお検討中
3. ELIESEによる parameter search は²³⁸Uについて start した所。
4. fission 関係はCDCで計算を準備中
5. RACY関係は bound state に問題があり, subroutine を変えた。
6. COMFORD 関係: data を利用する場合について良いidea が欲しい。code を積極的に使う計画が欲しい。

IV 核データグループの仕事のあり方について討論

文献調査, 計算関係等について討論があつた。

1. 文献調査について

負担である。有用性の問題に疑問がある。

外註してはどうか。

文献にrankをつけて簡略化する。

blank でも良いではないか。

始める時に簡単に始めて, 止める時にも簡単に止めるようでは困る。

結局, 縮小案を次回整理班が作ることになつた。

2. 計算関係

channel がはつきりしないので誰ほどの程度のことをたのめば良いか不明なのが困る。

V 次回 9月29日東海